

人を対象とする生命科学・医学系研究に関する情報公開文書

この研究の詳細についてお知りになりたい方は、下欄の問い合わせ担当者まで直接お問い合わせください。

なお、この研究の研究対象者に該当すると思われる方の中で、ご家族の試料（例：血液など）や診療情報（例：カルテの情報など）をこの研究に使ってほしくないと思われた場合にも、下欄の問い合わせ担当者までその旨をご連絡下さい。

<p>《試料・情報の利用目的及び利用方法》</p>	<p>●研究の名称 法医鑑定における薬物動態に関する研究</p> <p>●研究の対象</p> <ul style="list-style-type: none"> ・死亡前に薬物摂取が推定され、2023年11月から2028年12月までに浜松医科大学にて法医解剖が行われた事例。 ・過去5年程度(2018年11月頃)までに解剖された事例で、薬毒物鑑定の必要が新たに生じ、かつ検体が採取されているもの。 <p>●研究の目的</p> <p>日本では、年間数千件程度の中毒事故が発生しています。また、令和3年における自殺数の10%程度で薬毒物による中毒死とされています。中毒死では、ご遺体の体液、組織を用いて薬物濃度を測定することが診断に重要となります。しかし、多くの薬物で死後どのように体内に分布するか十分に検討されておらず、測定した薬物濃度の正確な評価を難しくしています。</p> <p>そこで、本研究ではご遺体から採取した体液、組織中の薬物濃度を測定し、死亡前に摂取した薬物の詳細な死後体内分布を調べることを目的としています。</p> <p>●研究の期間 研究機関の長による実施許可日から2028年12月まで</p> <p>●他の機関に提供する場合には、その方法 この研究では外部へ試料・情報を提供しません。</p>
<p>《利用し、又は提供する試料・情報の項目》</p>	<p>●研究に使用する試料・情報 身体所見、病歴、治療歴、内服歴、体液、組織等</p>
<p>《利用する者の範囲》</p>	<p>●機関名および責任者名 浜松医科大学 法医学講座 長谷川弘太郎</p>

人を対象とする生命科学・医学系研究に関する情報公開文書

<p>《試料・情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称》</p>	<p>浜松医科大学 法医学講座 長谷川弘太郎</p>
<p>《試料・情報の利用又は他の研究機関への提供の停止（受付方法含む）》</p>	<p>あなたのご家族の試料・情報を研究に使用することや、他の研究機関に提供することを望まない場合には、問い合わせ先まで連絡をいただければ、いつでも使用や提供を停止することができます。連絡方法は、以下《問い合わせ先》をご確認ください。</p>
<p>《資料の入手または閲覧》</p>	<p>この臨床研究の計画や方法については、あなたのご希望に応じて資料の要求または閲覧ができます。あなたのご家族の研究結果を知りたいと希望される場合は、研究担当者にその旨をお伝えいただければ、他の研究対象者に不利益が及ばない範囲内で、ご家族の結果をお伝えします。希望された資料が他の研究対象者の個人情報の場合には、資料の提供または閲覧はできません。</p>
<p>《情報の開示》</p>	<p>あなたのご家族の研究の概要や結果などの情報の開示を希望される場合は、他の参加者に不利益が及ばない範囲内で、原則的に結果を開示いたします。しかし、情報の開示を希望されない場合は、開示いたしません。</p> <p>また、本研究の参加者以外の方が情報の開示を希望する場合は、原則的に結果を開示いたしません。</p>
<p>《問い合わせ先》</p>	<p>〒431-3192 浜松市中央区半田山一丁目 20 番 1 号 浜松医科大学</p> <p>部署名： 法医学講座</p> <p>担当者： 長谷川弘太郎</p> <p>TEL： 053-435-2239</p>